

国立文楽劇場寄席

上方演芸特選会

おかげさまで第100回!

第100回 記念公演

落語

桂

福団治

浪曲

京

山

幸枝若

漫才

梅平

乃和

ハラ
ツツ
パパ

落語

笑福亭

仁智

奇術

キタノ

大地

浪曲

春

野

恵子

落語

露桂

の

そろば
眞

《仲入》

平成31年
3月13日水〜16日土
午後1時開演
国立文楽劇場〈小ホール〉

※番組・出演者の一部変更の恐れがございます。
午後3時50分終演予定

入場料金《指定席》 2,100円 [学生1,500円/シルバー1,300円(満65歳以上)]

※障害者の方は2割引(1,680円)です。

予約開始 2月11日(月・祝)午前10時〜

【電話】 国立劇場チケットセンター(午前10時〜午後6時)
0570(07)9900・03(3230)3000(一都庁専用)

【インターネット】 <https://ticket.ntj.jac.go.jp/>(パソコン)
<https://ticket.ntj.jac.go.jp/m/>(スマートフォン)

窓口販売開始 2月12日(火) [チケット売場 午前10時〜午後6時] ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

〈プレイガイド(2/11より)〉 チケットぴあ 0570(02)9999 <http://pia.jp/> [Pコード: 484-340]
ローソンチケット 0570(000)407 [Lコード: 54877]



国立文楽劇場 (大阪)

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号

06(6212)2531(代表) <https://www.ntj.jac.go.jp/>

●地下鉄・近鉄<日本橋>駅下車、7号出口より東へ徒歩約1分

●駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください

関西から

文化力
POWER OF
CULTURE

beyond
2020

第100回記念公演

上方演芸特選会

平成14年7月に第1回目の幕を開けて以来18年、上方演芸特選会はこの度100回の節目を迎えることとなりました。これもひとえに、これまでお引き立てくださった皆様のおかげです。心より御礼を申し上げます。

今回は100回目の記念公演にふさわしく、上方芸能4団体より選りすぐった演者の至芸をお楽しみいただきます。上方演芸特選会がこれから200回、300回と続いてまいりますよう、どうぞ末永くご最願のほどよろしくお願いたします。



■ 平和ラッパ・梅乃ハッパ

平成元年結成、男性二人のベテラン漫才師コンビ。二人ともにギターを弾き鳴らす、音曲漫才のスタイルで活躍している。

シャベクリ漫才が主流の中、ギター二丁の歌謡漫才で頑張っています。百回を迎える上方演芸特選会に出演させて頂き、大変光栄に思います。熱と力で舞台相努めます。皆様のご来場心よりお待ちしております。



■ 京山 幸枝若

上方演芸特選会百回記念おめでとうございます。私も一回目から出演させていただきました光栄です。我々浪曲親友協会も毎回お世話になり、心から感謝しております。この会が一回でも長く続けられるように浪曲師一同頑張っていきたいと思っております。

浪曲親友協会会長、昭和四十八年、父である初代幸枝若に弟子入りし京山福太郎、平成十六年に二代目を襲名。父親譲りの声節で人気を博している。



■ 桂 福団治

上方演芸特選会は、国立文楽劇場で目の肥えられたお客様に演芸を披露できる場であり、出演できる事は私達の目標であり喜びです。今後とも各団体が上方芸能の発展のために努力してまいりますので、引き続きご支援下さいますようお願い申し上げます。

関西演芸協会会長、昭和三十五年三代目桂春団治に入門して一番、三十八年に三代目小春、四十八年に四代目福団治を襲名。人情味を得意とする。



■ 春野 恵子

弟子入り志願に師匠を訪ねたのが第六回の楽屋。その時客席で聴かせて頂いた「両国夫婦花火」。打ち上げのシーンの華やかさが今でも脳裏に浮かびます。私の初出演は第二十五回。今回が九回目の出演。想いを込めて語ります。



■ キタノ 大地

格式ある国立文楽劇場の上方演芸特選会が百回目を迎えられる事を謹んでお慶び申し上げます。また、この暗れの舞台に輝々たる諸先輩方と共に演じて頂ける事を心より嬉しく思います。精一杯舞台を務めさせて頂きたいと思っております。

関西芸能親和会副会長、平成七年プロデビュー。カイド、燗などを使うマジックに加え、日本の伝統的な奇術である和妻も得意とする。



■ 笑福亭 仁智

諸芸の先輩師匠方が、上方演芸普及のため一致団結してスタートされたこの会が、百回を迎え感慨深いものがあります。お客様にもバラエティーにお楽しみ頂ける希少な会発展の一助になれば幸いです。

上方落語協会会長、昭和四十六年笑福亭仁智に入門。古典落語のみならず、創作落語にも精力的に取り組み、作品数は僅に百本を超えている。

■ 露の 眞

■ 桂 そらば

平成二十年、露の都に入門。

平成十七年、桂さくらばに入門。